



## 2学期 定期学校訪問シリーズ④ ～鶴谷中～

# 学習のプロセスに指導の工夫を

鶴谷中では、各教科等で本時の評価規準との連動を「めあて（目標）－個人の考え－意見交流－まとめ」で学習過程をつくり、授業改善の取組を進めています。

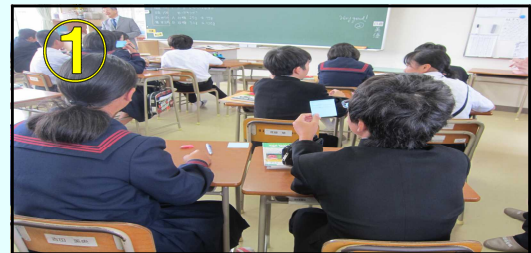
各学校においても、1時間における指導過程を意識して授業改善に取り組まれていると思いますが、それぞれの過程で、明確なつきたい力が全ての子どもに身につくよう取り組んでいくことが大切です。めあては、そのことを児童生徒に対して明確に示すものにするとともに、めあての達成のための学習活動が必要です。学習活動は、児童生徒が自らの力でめあてを達成するための活動のことで、自力解決やグループ全体での交流を経てまとめや振り返りまでを各自が行う必要があります。

日々の授業実践で、学習過程が定着するように、授業改善を進めていきましょう。

### 鶴谷中の取組

#### ① 各学級でペア・グループ活動を活用

自分の考えを付加修正するために、どの学級でもペア・グループ活動の交流活動を活発に行っていました。話し合わせる視点を明確にするで、自分の考えや意見を確かめたり、友だちから意見をもらうことで新しい考えを取り入れたりしていました。



#### ② 実験に見通しをもたせるモデル図活用

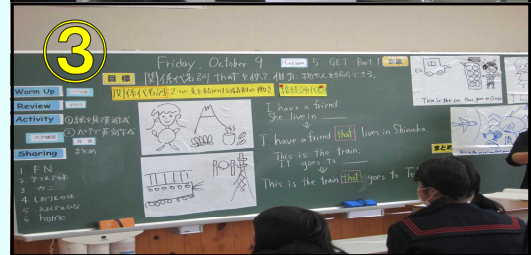
理科では、問題解決を図るためにモデル図を通して見通しを持たせ、実験手順を確実にを行う取組をしていました。「見通し」を持たせた実験を行うことにより、生徒がより意欲的に取り組み、考察を行うことにつながります。

実験が、生徒自らの主体的な問題解決の場なるよう工夫していました。



#### ③ 生徒の思考を促すため活用場面に絵を活用

外国語科では、生徒がペアで考えた絵を用い、関係代名詞を使った英作文を行っていました。自作絵に基づき条件に沿った表現の仕方を考えて、表現力を高めていく場面をつくっていました。



### 芯の通った学校組織活用推進のために

鶴谷中学校では、主要主任が「協働」の視点を持ち、管理職とともに組織的な授業改善への取組を行っています。たとえば、

- ・全国学力・学習状況調査の分析を丁寧に行い、課題解決の為の授業改善計画を整えています。
- ・1学期に立てた授業改善5点セットの修正及び日々の授業実践に対する自己・相互評価を行い、全職員の授業力向上を目指して取組を進めています。
- ・全職員に必要な研修を計画したり、既存の管理運営委員会に授業改善の項目を掲げ進捗状況を確認したりしています。

組織的で日常的な授業改善で、児童生徒の力と意欲の向上に努めていきましょう。